

行雲流水

No.339 令和2年12月21日発行

励ましの声は「元気・勇気の源」

校長 寒河江 正人

2学期も残すところ、**あと1週間**となりました。

日本中で新型コロナ「**第3波**」が猛威を振るう真っ只中、

本校は、週明けの本日、月曜日、「**風邪症状による欠席なし**」。

生徒諸君の「**健康・元気・笑顔こそが、学校にとって何よりの宝**」です。

これもひとえに「**保護者の皆様の日頃の健康指導**」と、「**生徒諸君の自己管理**」の賜物です。

さて、「教育活動アンケート」にお寄せいただいた「ご意見・ご感想等」を拝見しました。
皆様からの「応援・励ましの声」、感謝の念に堪えません。心から厚く御礼申し上げます。
すべてをご紹介することはできませんが、その中から一部をご紹介させていただきます。

「コロナ禍の中、様々な制約・自粛等があり、気が滅入るところ、生徒一人ひとりのために合わせた指導とさまざまな対策や対応をしていただき、子ども第一の教育環境づくりをしていただいていると感じています。いつもありがとうございます。感謝しています。」

「今年はコロナで大変な一年となってしまいましたが、そんな中でもできることを精一杯やってくれる先生方には、感謝の気持ちしかありません。ありがとうございます。」

「未曾有の危機の中、学校生活を送るに当たり、先生方の感染防止対策への努力、学習面・精神面へのサポートのおかげで安心して送り出すことができ、感謝しています。また、デイリーライフやメディアコントロール等の記入の時には、いつも一言コメントを添えてくださり、子どものやる気につながっています。これからもよろしくお願いします。」

今、世の中は、「誰かれなく無秩序・無責任に相手を責め罵る・不平不満・誹謗中傷の嵐」が「さも当然のように・正義であるかのように」吹き荒れ、多くの人が傷付いております。新型コロナよりも「相手を傷付けて平気な暴言という病いの蔓延」のほうが深刻です。

そんなゆがんだ世相の中にあっても、こうした本校保護者の皆様からの前向きで建設的な「励ましの声」は私たち教職員にとって何物にも代え難い「**元気・勇気の源**」であります。至らない私たちではありますが、皆様の信頼に応えられるよう、**生徒134名の自己実現のために**、これからも精一杯努めて参りますので、今後ともよろしくご支援願います。